

○ 富山空港の主な経過

年号	年	(西暦)	月	日	事 項
昭和	36	(1961)	2	20	飛行場設置許可(空飛第34号)
	36	(1961)	3	7	公共用飛行場指定(法第40号)の告示(通告第72号)
	36	(1961)	5	17	政令指定(空整第2条)の告示(通告第135号)
	38	(1963)	8	20	供用開始期日(法第46号)の告示(通告第274号)
	38	(1963)	8	21	東京(フレッドシップ機)就航
	38	(1963)	10		名古屋便(DC-3型)就航
	39	(1964)	6		新潟、大阪便(コンベア機)就航
	40	(1965)	11		名古屋便廃止
	41	(1966)	3		エプロン拡張及び誘導路の増設工事完成
	41	(1966)	6		新潟、大阪便廃止
	45	(1970)	7		東京便(YS-11型)就航
	46	(1971)	10	1	進入角指示灯の運用開始(通告第337号)
	47	(1972)	3	31	滑走路舗装嵩上げ工事完成
	47	(1972)	10		東京便1日2往復
	52	(1977)			河川水理模型実験(ジェット化対応検討のため)~51年
	53	(1978)	7		東京便1日3往復
	54	(1979)			第3次空港整備項目扱いで新規着工
	55	(1980)	3	24	飛行場変更許可(空管第70号)B-727対応
	55	(1980)	3	31	河川占用許可
	55	(1980)	11	28	届出(空第44号)範囲変更 DME等
	55	(1980)	12	30	用地買収調印
	56	(1981)	1		空港拡張工事着手
	56	(1981)	5		東京便1日4往復
	57	(1982)	6	17	飛行場変更許可(空管第134号)B-767対応
	58	(1983)	4		東京便1日5往復
	58	(1983)	9	17	空港拡張工事のため供用休止
	58	(1983)	12	19	届出(空第148号)範囲変更 民航地区
	59	(1984)	1	17	飛行場供用開始届出
	59	(1984)	1	20	飛行場変更許可(空管第134号)B-767対応
	59	(1984)	2	16	供用再開予定期日(法第46号)の告示(通告第90号)
	59	(1984)	3	18	飛行場供用再開(ジェット化)東京便1日4往復(ボーイング737型機)
	59	(1984)	5	10	飛行場供用再開(法第46号)の告示(通告第246号)小型機エプロン
	59	(1984)	7	1	空港運用時間11時間30分に延長(以前は8時間)
	59	(1984)	7	21	東京便(ボーイング767-200型)就航
	59	(1984)	12	1	第2車庫供用開始
	60	(1985)	4	1	東京便1日5往復
	62	(1987)	7	1	空港運用時間13時間に延長
	62	(1987)	8	1	東京便(ボーイング767-300型)就航
	62	(1987)	9		ターニングパッド拡張工事
平成	元	(1989)	7	22	東京便1日6往復
	2	(1990)	3	8	旋回灯(CGL)、進入角指示灯(PAPI)供用開始
	3	(1991)	3		進入路指示灯(RAI)の改良
	3	(1991)	3	7	最低進入気象条件の変更(VIS 1,900→1,400m)
	3	(1991)	4	23	名古屋便1日2往復(フォッカー50-F27マーク050)就航
	3	(1991)	6	1	札幌便1日1往復(ボーイング767-200型)就航
	4	(1992)	3	31	エプロン拡張工事完成
	5	(1993)	3	31	第1期国際線ビル竣工
	5	(1993)	4	26	ソウル便週3往復(ボーイング737-400型)就航
	6	(1994)	1	26	日露航空協議によりウラジオストク便開設決定
	6	(1994)	4	1	東京便ナイトステイ実施
	6	(1994)	4	1	ソウル便週4往復
	6	(1994)	7	15	ウラジオストク便週1往復(ツボレフ-154型)就航
	6	(1994)	11	1	福岡便1日1往復(エアバス320型)就航
	7	(1995)	4	11	ウラジオストク便週2往復
	8	(1996)	3		第2取付誘導路、コンクリートエプロン新設、駐車場拡張工事

年号 年	西暦)	月	日	事 項
8	(1996)	7	5	函館便週4往復(フォッカー50-F27マーク050)就航(10月までの季節運航)
8	(1996)	10	1	関西便1日1往復(エアバス320型)就航
9	(1997)	6	1	函館便1日1往復(10月までの季節運航)
9	(1997)	11	1	関西便週3往復
10	(1998)	3	1	長崎便1日1往復(フォッカー50-F27マーク050)就航(5月までの季節運航)
10	(1998)	6	17	大連便週2往復(MD-82型)就航
10	(1998)	7	17	ターニングパッド改良(02、20側共)、第1及び第2誘導路改良部分供用開始
10	(1998)	7	17	東京便1日5往復[ボーイング777-200型]就航
11	(1999)	4	1	関西便運休
11	(1999)	10		滑走路舗装改良(嵩上げ)工事開始(1,200m) ~12年3月
12	(2000)	3	1	広島西便1日1往復(フォッカー50-F27マーク050)就航(5月までの季節運航)
12	(2000)	4	1	長崎便運休
12	(2000)	6	1	東京便1日6往復
12	(2000)	11		広島西便の再開(1日1往復、5月までの季節運航)
13	(2001)	3		ソウル便夜間駐機開始
13	(2001)	3	26	大連便週3往復
14	(2002)	3		広島西便運休
14	(2002)	7	1	東京便に日本航空が就航(1日2往復)、全日本空輸と合わせて1日8往復に増便
14	(2002)	7	16	沖縄便(ボーイング737-400型)週4往復就航(8月31日までの季節運航)
14	(2002)	8	7	消防除雪車庫供用開始
14	(2002)	10		大連便週4往復
15	(2003)	4		名古屋便1日1往復(10月まで運航)
15	(2003)	4		大連便週4往復(木曜日1往復運休)
15	(2003)	7		沖縄便(ボーイング737-400型)週4往復就航(8月31日までの季節運航)
16	(2004)	3		歩行者用ルーフ設置
16	(2004)	10	26	富山空港国内線利用者2000万人達成
16	(2004)	11		名古屋便、函館便運休
17	(2005)	4		大連便週4往復再開(木曜日運航)
17	(2005)	10	1	航空管制官配置
17	(2005)	10	14	新電源局舎供用開始
17	(2005)	10	23	上海便週3便(ボーイング737-800型)就航
18	(2006)	3	31	日本航空東京便、沖縄便運休
18	(2006)	4	1	空港運用時間14時間30分に延長
18	(2006)	4	15	ソウル便週5往復
18	(2006)	4	30	ウラジオストク便週4往復
18	(2006)	8		ウラジオストク便週3往復
18	(2006)	11	20	富山空港ターミナルビル 国内線・国際線ビル一体化工事竣工
19	(2007)	6		有料駐車場精算機システム更新(事前精算機供用開始)
19	(2007)	7		ソウル便週3往復
19	(2007)	10		全日本空輸福岡便運休
19	(2007)	12		小型気象レーダー運用開始
20	(2008)	8		最低降下高度引き下げ運用開始
20	(2008)	10		上海便週2往復
21	(2009)	1		ウラジオストク便週2往復
21	(2009)	4		ウラジオストク便週1往復
21	(2009)	11		札幌便に北海道国際航空(エア・ドゥ)就航
22	(2010)	4	24	ソウル便週5往復
22	(2010)	5	24	ソウル便週3往復
22	(2010)	6		停止位置誘導案内灯運用開始
22	(2010)	12	31	ウラジオストク便運休
23	(2011)	3	27	大連便を北京まで延伸、毎日運航(週7往復)
23	(2011)	4		北京・大連便週4往復
23	(2011)	4	25	駐車場案内システム運用開始
23	(2011)	6	30	飛行場灯台更新
23	(2011)	10	4	進入路指示灯更新

23	(2011)	10	30	北京・大連便週7往復
24	(2012)	1	7	北京・大連便週5往復
24	(2012)	4	16	台北便週2往復(ボーイング737-800型)就航
24	(2012)	7	4	台北便週3往復
24	(2012)	10	28	台北便週2往復
24	(2012)	10	28	北京・大連便運休
24	(2012)	11	22	空港の愛称を「富山きときと空港」に決定
24	(2012)	12	1	XバンドMPレーダーの観測データ(XRAIN)を活用した航空機への運航支援を開始(本運用は2013.11開始)
25	(2013)	4	15	台北便週4往復に増便
25	(2013)	5	31	簡易式進入灯更新
25	(2013)	6	15	東京便(ボーイング787-8型)就航
25	(2013)	8	24	富山きときと空港開港及び富山ー東京便就航50周年記念式典開催
25	(2013)	9	25	大連便週2往復
25	(2013)	10	27	台北便週2往復
26	(2014)	3	30	台北便週5往復
26	(2014)	4	15	台北便週7往復
26	(2014)	6	1	台北便週5往復
26	(2014)	10	26	台北便週4往復
26	(2014)	12	11	RNP-AR飛行方式設定
26	(2014)	12	30	台北便週2往復
27	(2015)	3	29	台北便週4往復
27	(2015)	4	2	H1、H2(旧16、17)スポットが最大離陸重量11tまで駐機可能になる(旧5.7tまで)
27	(2015)	7	3	ソウル便運休
27	(2015)	7	15	上海便週3往復
27	(2015)	7	24	ソウル便週3往復
27	(2015)	8	22	上海便週2往復
27	(2015)	10	25	台北便週2往復
28	(2016)	1	8	台北便週4往復
28	(2016)	3	27	東京便1日4往復
28	(2016)	4	16	台北便週6往復
28	(2016)	5	29	台北便週4往復
28	(2016)	10	30	台北便週2往復
28	(2016)	10	31	ソウル便にエアソウル(LCC)就航 週3往復 季節運航
28	(2016)	11	27	ソウル便運休
29	(2017)	1	8	台北便週4往復
29	(2017)	3	27	ソウル便週3往復
29	(2017)	4	15	台北便週7往復
29	(2017)	6	1	台北便週4往復
29	(2017)	10	29	ソウル便運休
30	(2018)	3	26	ソウル便再開
30	(2018)	4	15	台北便週7往復
30	(2018)	5	1	台北便週4往復
30	(2018)	10	29	大連便週3往復
30	(2018)	10	29	ソウル便運休
31	(2019)	3	31	ソウル便週3往復
令和元	(2019)	6	27	検疫施設運用開始
元	(2019)	7	11	上海便週4往復(9月29日までの木・日曜チャーター運航)
元	(2019)	9	16	ソウル便運休
2	(2020)	2	8	上海便新型コロナウイルスの影響により運休
2	(2020)	2	12	大連便新型コロナウイルスの影響により運休
2	(2020)	3	1	台北便新型コロナウイルスの影響により運休
2	(2020)	4	1	東京便・札幌便新型コロナウイルスの影響により一部運休
3	(2021)	10	31	東京便1日3往復
4	(2022)	3	18	東京便通常運航再開
4	(2022)	4	28	札幌便通常運航再開

5	(2023)	4	13	台北便臨時便運航（約3年ぶりの国際線再開）
5	(2023)	8	8	上海便再開週2往復
5	(2023)	8	20	富山きときと空港開港及び富山―東京便就航60周年記念式典開催
6	(2024)	4	25	上海便週3往復
6	(2024)	6	26	大連便再開週2往復
7	(2025)	5	24	大連便運休
7	(2025)	12	23	上海便運休